

ルールサマリ

インゼイン

マルチジャンル・ホラーRPG

insAte

重要なルール

再挑戦

自分の【好奇心】と同じ分野の特技を指定された場合、【生命力】か【正気度】を1点消費すると、1回だけサイコロを振り直すことができる。

スペシャル

自分の【生命力】か【正気度】を1点回復することができる。

ファンブル

【狂気】を1枚獲得する。

感情を持っている相手にできること

「情報共有」「戦闘乱入」「感情修正」

ドラマシーンにできること

ドラマシンの手順

- ①シーン表を使用し、結果を読みあげる。
- ②登場人物や時制を決定する。
- ③主要な行動を「休息」、「調査」、「交流」から選び、判定を行う。好きな特技で判定。

そのほかにもできること

情報やアイテムの譲渡・交換

シーンに登場しているキャラクター同士は、持っているアイテムやプライズ、【情報】を譲渡・交換することができる。

アビリティの使用

- ▶効果にドラマシーンに使用できることが書かれているアビリティを使用する。ただし、効果で「自分がシーンプレイヤーなら」と指定されている場合は、シーンプレイヤーしか使用できない。
- ▶1人のキャラクターは同名のサポートアビリティを1サイクルに1度しか使用できない。

再訓練

アビリティの指定特技を変更することができる。

ゾーキング

そのシーンの周囲の状況をゲームマスターに確認したり、NPCに質問することができる。

休息判定

▲手当:同じシーンに登場しているキャラクター1人(自分も可能)を目標を選び、目標の【生命力】か【正気度】を2点回復する。

▲カウンセリング:同じシーンに登場している自分以外のキャラクター1人を目標を選び、未公開の【狂気】1枚の名前を宣言する。目標が宣言した【狂気】を持っているならば、その【狂気】をゲームから除外する。

調査判定

好きなキャラクター1人か、公開されているハンドアウト1つを目標を選び、目標の【秘密】か【居所】か【精神状態】を獲得する。

交流判定

シーンに登場しているキャラクター1人を目標を選ぶ。目標と自分はお互いに【感情】を獲得する。【感情】の種類は「感情表」を使用して決定する。

シーン表

出目	結果
2	血の匂いがあたりに充満している。事件が事故か? もしや、それは今も続いているのだろうか?
3	これは……夢か? もう終わったはずの過去が、記憶の中から蘇ってくる。
4	眼下に広がる街並みを見下ろしている。なぜこんな高所に……?
5	世界の終わりのような暗黒。暗闇の中、何者かの気配が蠢く……。
6	穏やかな時間が過ぎていく。まるであんなことがなかったかのように。
7	影の長く伸びる黄昏時。行き交う人の顔も定かではない。逢魔時だ……。
8	人通りの少ない住宅街。見知らぬ人々の住まう家々の中から、定かではない人の声や物音が漏れてくる……。
9	にわかには空を雲が覆う。強い雨が降り出す。人々は、軒を求めて、大慌てで駆け出していく。
10	荒れ果てた廃墟、朽ちた生活の名残。かすかに聞こえるのは風か、波の音か、耳鳴りか。
11	賑わう店の中。噂話や陰口、相談事など、人々が様々な会話に興じている。
12	明るい光に照らされて、ほっと一息。だが光が強いほどに、影もまた濃くなる……。

狂気

- ▶恐怖判定に失敗すると、そのPCは【狂気】を1つ獲得。
- ▶シーンに登場しているときに未公開の【狂気】のトリガーに書かれた条件を満たした場合、顕在化する。顕在化した【狂気】の効果は処理する。
- ▶顕在化した【狂気】が1枚あるたびに、攻撃によって与えるダメージが1点上昇する。
- ▶狂気の手札がすべて無くなった状態で、誰かが【狂気】を獲得した場合、狂気の濁流が発生する。各PCは1回ずつ「バッドエンド表」を使用し、終了フェイズとなる。

錯乱状態

- ▶顕在化した【狂気】が、自分の現在の【正気度】の値を超えると、そのキャラクターは錯乱状態になる。
- ▶以下の行動を行うためには、コストとして【生命力】か【正気度】を1点消費する必要があります。回避、ブロック、支援行動、タイプがサポートのアビリティの使用、アイテムの使用

感情表

出目	結果
1	共感(プラス) ／不信(マイナス)
2	友情(プラス) ／怒り(マイナス)
3	愛情(プラス) ／妬み(マイナス)
4	忠誠(プラス) ／侮蔑(マイナス)
5	憧憬(プラス) ／劣等感(マイナス)
6	狂信(プラス) ／殺意(マイナス)

恐怖の種類

暴力的な恐怖 自分の身体が傷つくこと、おびただしい血、無惨な死体、残酷な虐待の現場、悲惨な戦場など。
情動的な恐怖 執拗な想いが綴られた手紙や日記、異常な愛情、裏切りや失恋といった親しい人との別れなど。
知覚的な恐怖 不気味な芸術作品、悲鳴や断末魔、嫌悪を覚える感触、衝撃的な映像、食人行為のような禁忌など。
技術的な恐怖 先端技術の暴走、機械の誤作動や事故、自分の存在価値を奪いかねない新しい発明など。
知識的な恐怖 非人間的な知識、不都合な真実、国家的陰謀、自分の社会的身分の喪失、絶望的な未来など。
怪異的な恐怖 幽霊、異世界の悪魔、学校の怪談、魔術、超能力、UFO、エイリアン、地底人、未来人のような超自然的存在や現象、誰かの死。